

～沼田町のシンボル～ みんなで「ほたる」を守ろう



ほろしん温泉に隣接するほたるの里では、毎年7月～8月に数千頭のほたるが乱舞し、多くの観光客の目を楽しませています。

沼田町がほたるの里づくりをスタートさせたのは昭和63年です。町ホタル研究会（野道夫会長）が中心となつて、ほたるの人工ふ化や幼虫の放流を続けるとともに、ほろしん温泉に「ほたるの里」の施設整備を進め、沼田町は全国的にも知られるほたるの名所となりました。その後、自然繁殖により、地区を流れる幌新太刀別川流域まで生息域を広げようになりました。



ほたるの里として知られるようになった沼田町ですが、近年、これまで中心となつてほたるの保護活動を行ってきた研究会メンバーの高齢化が進み、環境整備などの保護活動が段々と難しくなつてきており、それに比例してほたるの個体数も減少傾向がみられるようになってきました。

ほたるが生息する素晴らしい自然環境を、未来の子ども達に引き継いでいけるように、町民の皆さん一人ひとりがほたるについて考え、守っていく方法を考えていきたいと思います。

ほたるの里の水路がきれいになりました！

ほたるの里の水路には、長年にわたる泥や落葉が河床に堆積し、そこに葦（ヨシ）などの水辺に生える多年草が生い茂っている状態でした。このままではほたるが住みにくい環境であるため、今春水路の清掃を行いました。きれいになった水路で今年も多くほたるが飛び交うことでしょう。



清掃前の水路。葦（ヨシ）が生い茂り、水路が見えない状態でした。



葦（ヨシ）を取り除き、河床に堆積した泥や落葉も取り除いた後の水路。きれいな水がさらさらと流れる良い環境になりました。ほたるたちも喜んでくれていると思います。



どこまで知っていますか？ほたるのナゾ

沼田町民にとって身近な存在であるほたるですが、その生態についてどこまでご存じでしょうか？ここでは様々なほたるのナゾについて説明していきましょう。

Q 1 ほたるの種類はどのくらい？

ほたるの種類は約2000種類以上もあり、そのうち日本国内では約45種類のほたるが生息しているといわれていますが、全てのほたるが発光するわけではなく、そのうち発光するのは15種類程度です。

日本全国各地で観賞できるほたるは、ゲンジボタル、ヘイケボタル、マドボタル、ヒメボタル、ベニボタルなどが有名で、日本で最も多く見られるほたるはゲンジボタル、ヘイケボタル、ヒメボタルの3種類。沼田町のほたるの里に生息する種類はヘイケボタルです。



Q 2 ほたるはなぜ光るの？

ホタルのお尻に近い部分に、黄色くみえる"発光器"というものがあります。その中には"ルシフェリン"という発光する物質と、発光するのを助ける"ルシフェラーゼ"という酵素があります。

この2つの物質と、体の中の酸素が反応して光を出します。この"ルシフェラーゼ"はホタルによって違いがあります。そのため、一般に知られている黄緑色の光以外にも黄色やオレンジ色など光の色はいろいろです。また、ホタルの光は熱くありません。"ルシフェラーゼ"という酵素は生き物が体内で作るもので、化学反応を効率よく進めるためのタンパク質です。この働きによって、電球のように熱くならないのです。

Q 3 幼虫はどこに棲んでるの？

交尾後にメスは、卵を水辺近くの石などに生えたコケに産み付けます。そしてふ化した幼虫はすぐに水面に落下します。そこから幼虫は水中で生活し、寒い冬も越えます。

幼虫は河床で暮らし、タニシやカワニナなどの巻貝を捕食して大きくなり、6月上旬ごろから上陸して土の中でサナギになります。

Q 4 ほたるが一番光る時間帯はいつ？

ほたるが多く飛ぶ時間は、夕暮れの午後7時30分頃から午後11時ぐらいまでで、乱舞のピークは日没直後から1時間30分ぐらいのこと。

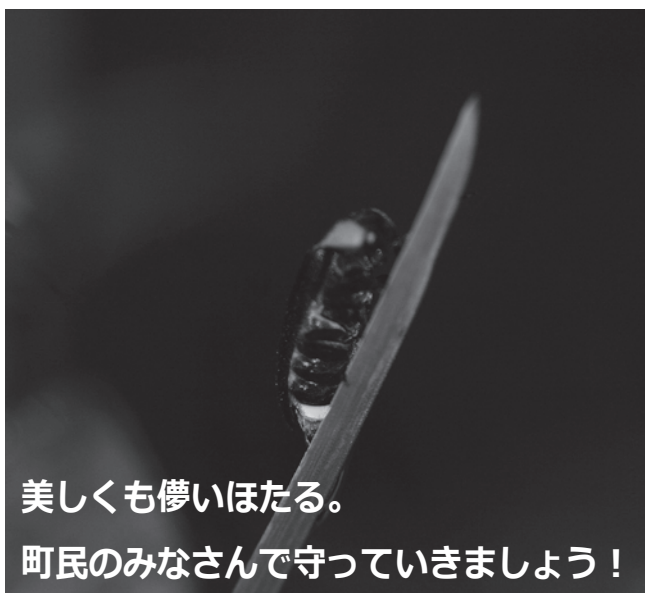
蒸し暑く風のない曇り空（月明かりがない）の時に多く飛び回ります。雨の日や風が強かったり、気温が低いとき、月明かりが明るい夜はあまり飛びません。

Q 5 成虫はどれぐらい生きるの？

ほたるは、成虫になってからおよそ2週間しか生きられません。幼虫の時にとった栄養分を体内に蓄えており、成虫時は水を飲むだけで餌は全く食べません。夜行性で昼間は暗くて涼しい場所を選んで静止し、ほとんど光を発しません。儚くも美しい光を放つほたるを大切にしていきましょう。

Q 6 卵や幼虫も光るってホント？

ほたるは卵や幼虫、サナギまでもが光を発します。ほたるの発光は、成虫の場合は基本的にオスとメスの出会いのためと考えられますが、その必要がない産卵を終えたメス、さらには卵や幼虫、サナギまでもが発光しますが、交尾前の成虫以外の発光の役割というのはよくわかっていません。



美しくも儚いほたる。

町民のみなさんで守っていきましょう！

みなさんいくつご存じでしたか？卵や幼虫まで夜に光るなんて意外でしたよね。そして成虫となって飛び回れる期間も2週間しかないなんて、まさに「命の灯（ともしび）」です。

沼田町が「ほたるの里」と言われるようになって30年以上が経ちました。これまでほたる研究会やほたる館などの関係者の皆様の努力により、ほたるが棲める環境が整えられてきましたが、時代は移り変わり、次の世代が受け継いでいけなくてはならなくなりました。少しでもほたるの里の維持にご興味がある方がいらしたらご協力いただくと幸いです。

◆ 役場産業創出課 電話 35-2155